

おい自然園

オモダカ

No.133

イネとともに、田んぼに生える代表的な植物の一つで、夏に白い三弁の花を咲かせます。

漢字では「沢瀉」「面高」で、前者から水田や池沼に生える植物だとわかります。後者は、葉の表面に隆起した模様からの呼び名ですが、葉の形はまるでやじりのようです。

花や葉が家紋に使われているので、名を聞いたことがある方も多いでしょう。なお、正月のおせち料理に使われるクワイは、本種の変種です。

本種を含め田の草は、農家にとって厄介な存在ですが、それらは田んぼという特殊な環境に生息していますから、田がなくになると絶滅してしまいます。田んぼを維持することは、その生態系を維持することでもあるのです。



▲花を咲かせるオモダカ

【おい自然園 HP】



▲大井町の動植物や自然観察会、石、果などを掲載しています。

おい自然園 園長 一寸木 肇

【自然NOWへの投稿】



▲町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で。